



11月9日、15日の全国秋季火災予防運動に合わせて、上島町内の各地区において、幼年消防クラブ員による防火パレードが実施されました。

幼年消防クラブ防火パレード



た。パレードでは、クラブ員が拍子木を打ち鳴らしながら「火の用心」と元気な声で沿道の人々に火災予防を呼びかけました。



10月31日(木)、弓削鎌田の久司山において、愛媛県消防防災航空隊と上島町消防署の合同による防災ヘリを使用した消防訓練を行いました。

弓削久司山救急救助訓練



今回は、山道からの滑落を想定した救助訓練に加え、消防隊員のホイスト(ウインチの一種)降下訓練も行いました。

11月10日(日)、佐島横峰山において、消防団と消防署の合同による林野火災対応訓練が行われました。今回は、水利から遠距離かつ高所で発生した林野火災を想定し、消火訓練を行いました。



作戦会議

1台と小型ポンプ5台を配置して放水を行いました。

佐島・横峰山林野火災対応訓練

令和元年10月出動件数

地区	弓削	生名	岩城	魚島	その他	合計	R1累計
火災	0	0	0	0	0	0	3
救急	30	8	11	1	0	50	434

(令和元年10月31日現在)

上島町消防署 ☎77-4118



ホース展張

消防署では消防団との訓練を今後も定期的の実施して、連携強化に努めていきます。



落葉果樹の剪定

12月になると落葉果樹はほぼ落葉し、剪定の時期となります。剪定を行わないと果実品質や樹勢が悪くなるだけでなく病害虫が発生しやすいです。2月までは剪定を終わらせましょう。

① 柿

柿は、今年伸びた枝の先端4〜5節にしか花芽がありません(図1)。先端を切ってしまうと花(果実)はありません。樹の中まで日が当たるように間引き剪定主体で剪定してください。柿は高くなりやすいので、ある程度の高さで樹高を抑え

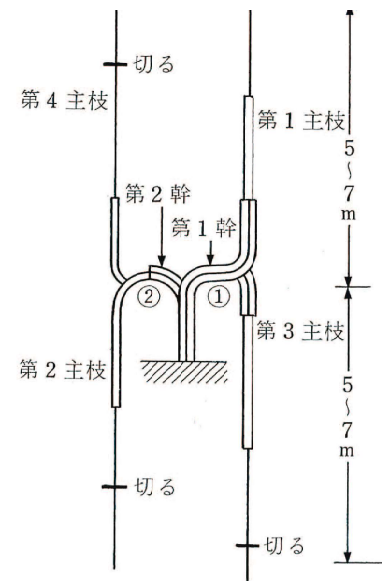


図2 ぶどうの仕立て方

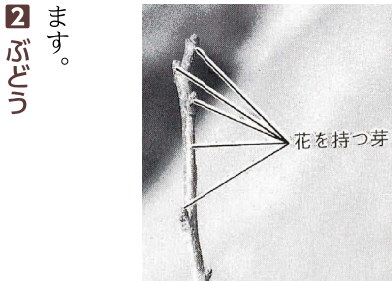


図1 枝先の花芽

② ぶどう

ぶどうは手間のかかる果樹ですが、8〜9月にはおいしく食べることかできます。最近では、手間のかからない仕立て方が主流になっています。短梢剪定という主枝4本を平行に配置します(図2)。樹形ができ上れば、毎年その年に伸びた枝の基2芽程度を切り返すだけです。作業が単純で省力的な方法です。

③ キウイフルーツ

キウイは、前年の枝から伸びた枝に実が付きます(図3)。果実のなった部分からは枝が出ないので、続けて利用すると、実のなる部分がどんどん先になってしまいます。そのため、より主枝に近いところから出た枝に更新する必要があります。

落葉果樹もそうですが、ある程度のスペースが必要です。狭い所に植えると剪定が強くなり樹が暴れます。将来のことを考えて植えてください。

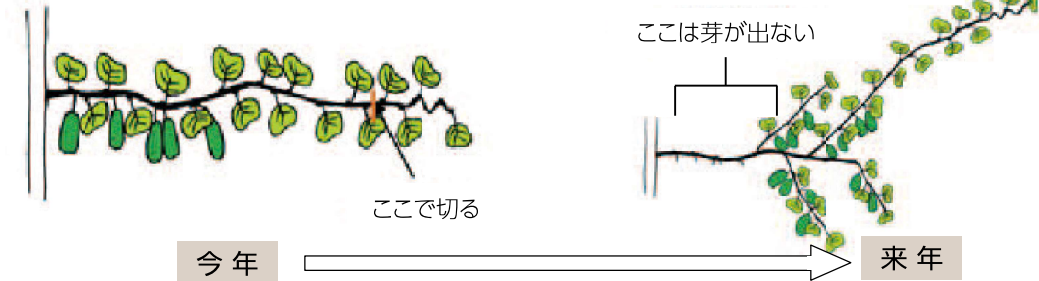


図3 キウイの剪定

野菜の管理

冬の間に土づくり
この時期、何も作付けされていない畑では、土づくりのため堆肥や落ち葉などの有機物をすき込んでおきましょう。

越冬野菜の管理ポイント

① たまねぎ

1月頃から3月まで肥料を月に1回、化成肥料(N15%)を1aあたり2kgほど施用します。雨が少なく土の乾燥が続く時は、冬でも灌水が必要です。

② えんどう

竹の枝などを立てて防寒とつるが巻きつく準備をします。花が咲き始めたら肥料を少量ずつ施用して下さい。

③ そらまめ

株元から芽がたくさんでくるので、芽かぎして1株あたり6〜8本程度にします。